

平成21年度第8回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会
平成21年度 第3回沖縄県5大がん地域連携クリティカルパス全体会議議事要旨

日時 : 平成21年11月4日(水) 19:00~20:40
場所 : 琉球大学医学部附属病院 管理棟3階 大会議室
構成員 : 26名
出席者 : 17名

国吉秀樹(沖縄県南部福祉保健所) 比嘉宇郎(那覇市立病院) 下地英明(琉球大学医学部附属病院) 白石祐之(琉球大学医学部附属病院) 友利寛文(那覇市立病院) 伊佐勉(浦添総合病院) 佐久川廣(ハートライフ病院) 上原忠司(那覇市立病院) 照屋孝夫(琉球大学医学部附属病院) 川畑勉(国立病院機構沖縄病院) 照屋淳(北部地区医師会病院) 宮里浩(那覇市立病院) 佐村博範(琉球大学医学部附属病院) 照屋剛(豊見城中央病院) 上田真(沖縄県立中部病院) 宮国孝男(琉球大学医学部附属病院)

陪席者 : 仲本奈々(琉大病院がんセンター)

[報告事項]

1. 平成21年度第2回5大がん地域連携クリティカルパス全体会議議事要旨 [資料1](#)
平成21年度第2回5大がん地域連携クリティカルパス全体会議議事要旨が承認された。
2. 各ワーキンググループ長からの報告
 - (1) 大腸がんワーキンググループ グループ長 宮国 孝男(琉大病院) [資料2](#)
 - (2) 乳がんワーキンググループ グループ長 下地 英明(琉大病院) [資料3](#)
 - (3) 胃がんワーキンググループ グループ長 照屋 孝夫(琉大病院) [資料4](#)
 - (4) 肺がんワーキンググループ グループ長 白石 祐之(琉大病院) [資料5](#)
 - (5) 肝がんワーキンググループ グループ長 佐村 博範(琉大病院) [資料6](#)各グループ長から作成した、各がん種に特有な留意点、適用症例の報告があった。

[協議事項]

1. 地域連携クリティカルパス説明書(かかりつけ医向け) [資料7](#)
「かかりつけ医」と「専門医」について用語の確認を行った。沖縄県の現状を考えると、専門医は診療所、一般病院にも存在することから、専門医(がん診療連携拠点病院、専門病院)と記載することが承認された。また、一般病院においてもかかりつけとしての機能があることから、かかりつけ医(一般病院、診療所等)と記載することが承認された。
説明書の中の連携パスの運用期間では、かかりつけ医と専門医が適宜連携し決めていくとしてあるが、実際の診療計画表に従い、かかりつけ医の元で連携パスによる診療を開始して5年間とし、当該期間満了後または、パスでの診療を中止した時点でかかりつけ医は、診療経過表を専門医へ送付する旨が承認された。
かかりつけ医(一般病院、診療所)での投薬・検査等にあたっての留意については、必要最低限に簡略化し、作成し直すことが承認された。
2. 地域連携クリティカルパス説明書(患者さん向け) [資料8](#)
私のカルテの中に患者自身が記載できる自己チェックシートを加えることが承認され、各ワーキンググループで作業を進めることになった。
3. 「がん診療連携に関するアンケート」について [資料9](#)
診療所620施設、病院55施設にがんの地域医療連携アンケートを実施し、現在結果の集計中との報告があった。委員の先生方には、集計結果を電子メールで報告することとなった。

- 4 . 研修会（説明会）の企画開催について 資料 1 0
地域連携パス事業についての医師向け研修会を、南部地区（2回）、中部地区（2回）、北部地区（2回）、宮古島市（2回）、石垣市（2回）で行うことが承認された。ソーシャルワーカーや看護師向けの研修会も並行して進めることとなった。研修会の際には、各ワーキングの先生に協力を依頼することとなった。
- 5 . 連携パス運用のためのスケジュール案について 資料 1 1
スケジュール案に基づき進めることが承認された。
- 6 . 第4回全体会議の開催日程について
次回は平成22年2月3日（水）に第4回5大がん地域連携クリティカルパス作成ワーキンググループ全体会議を行うことが承認された。
- 7 . その他
出席状況が悪い委員については、部会から委員の変更依頼をすることとなった。また、部会での協議内容をワーキンググループの先生方に周知するために、メールやグループ長を通じて報告することになった。